

文芸 さくらがわ

俳句

【大和俳句愛好会】

紅白の花活け朝の涼しかり

鈴木 ふみい

夢で逢う素顔の母や秋裕

古橋 益子

紺匂う手甲にこぼる稲の花

安達 幸子

秋色の空を写せり桜川

岩淵 のぶ子

二股の川の流れも水の秋

鈴木 つぎ

「おひさまに」心癒さる涼新た

田中 はつひ

朝顔や空に溶け合ふ風さやか

鈴木 登美子

蔵だけの遺れる旧家草茂る

皆川 和子

夏草の長けて看板見え隠れ

田代 てい子

曾孫から可愛い電話秋の宵

代田 とし

【一般投稿】

限りなき円周率や天の河

木下 善信

短歌

【花の室 木崎集】

いまはむかし役場に使用し四十畳部屋を抱へて離れの屋根見ゆ

塚田 沙玲

庭隅に墓標のような蝉の羽根蟻の子たちの歓声聞こゆ

大久保 まさ子

夕暮れの木犀香る散歩道幾百万の金の花びら

櫻井 ハル子

腕時計つけたる日なき一生なり君と大地に刻みし足跡

塩谷 明子

喜雨ありて月にきらきら玉の露さやかに奏づる虫の声かな

鈴木 とみ

仰ぐ月にまばらな雲のかけて行く遠くに住みたる友恋しかり

塚本 幸子

「よい子やね」と言いて逝きし母に似る孫ふくふくと一歳に

西岡 和子

ひそと立つマリア地蔵に涙せし旅人あらむ禁教の世に

野村 幸男

さまよひてめぐり逢ひたる父母夫か真夜に目覚めて眼を凝らす

深谷 快子

【岩瀬萩歌会】

崖にツワブキ咲ける川尻の海は母の地し
ら波疾る（川尻海岸は日立） 小林 美瑛子
夜の更けにときを惜しむかこほろぎの声し
きなり暫し聞きをり 小林 むら

二の孫も夫の位牌を頂きてはすばやく避難す地震のさなか 大関 にち子

竹の子はいのちの歡喜洞に秘め比ひ無きかなその力ほも 瀧井 幸子

八月の陽は容赦なく墓石はたおれしまま深く額づく 五月女 静江

新聞の投稿欄にわが名前見つけし一日はハミング続く 浜野和 操

終電の車両の軋み近くなり遠くなりつつ明日へと続く 渡辺 しな子

私語聞こえぬ耳よ哀れかなまして恋など思案の外なり 石田 守子

嫁ぐ日の決まりて縫いたる花柄の着物の袢いまだ解かず 大久保 富美江

【岩瀬萩歌会】
健やかな明日を希ひ夕日さす厨に入りて人参刻む 安達 悦子

精根をこめて作りし紅西瓜一日にくやし鳥のいたづら 安達 すみ子

鯛の啼きつぐ声のいつしかに止みて樹立ちに夜のしづけさ 大関 節子

涼もとめさ庭に立てば尾花の葉そよぐ葉影に十六夜の月 角田 玉枝

一周忌初盆も終へ亡夫の声こほしく独りテープ操り居つ 坪井 ゆき子

澄みきつた夜空に初秋の風たちて台風一過の月星きらめく 長谷川 玲子

幾年を共に学べる友垣のしばしの集ひにも絆覚ほゆ 石川 喜代

10月24日(月)
市長と話してみませんか?
～市民の日～

市民の皆様の声を行政に反映するために、市長とお話してみませんか。話題はなんでも結構です。皆様のご来場をお待ちしています。

■時間／9時～12時・13時～16時

■場所／市役所 大和庁舎 談話室

■問合先／秘書広報課 (☎58-5111・75-3111 代表)